

お気軽に
ご参加ください

参加
無料

中小企業の経営課題を解決!

中小企業経営者、中小企業支援者(金融機関、中小企業診断士、支援機関等)

こうやって中小企業の経営課題を解決した!!

経営者と中小企業支援者のためのオンラインセミナー

～会社の未来を切り拓く新しい価値とその実現をデザインする～

中小企業を取り巻く事業環境は急激に変化しています。従来の事業計画だけでは将来が描きにくい...このような中、大切なのは「経営をデザインすること」。それは、現在の事業をいかに改善するかという発想をするのではなく、経営者が5年後、10年後のありたい姿や社会へ提供したい価値を明確にして、将来像からバックキャストで構想することです。

本セミナーは「経営をデザインする」思考補助ツールである内閣府提唱の「経営デザインシート(KDS)」を活用し、課題を解決した中小企業の社長、そして支援者から体験談を聞きながら学べるセミナーです。

講師

知的財産研究教育財団 事業部長
内閣府 価値デザイン経営WG委員

近藤 泰祐 氏

知的財産管理技能検定や知的財産アナリスト認定講座などを通じ、企業で活躍できる人材育成に取り組んでいる。

こんなことができるように! セミナー受講のメリット

経営の「真の課題」を捉える



表面的な課題ではなく、会社のありたい姿に向けた真の課題の捉え方がわかる

コンサルのレベルUP



従来の課題解決型支援から、課題設定型伴走支援へとレベルを高めるヒントを得られる

融資先への真の支援



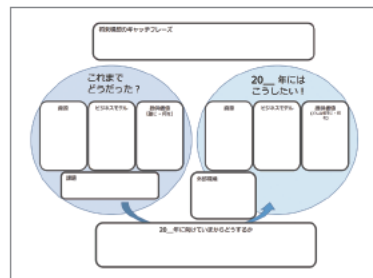
融資先の強みを活かした将来のビジネス構想の実現に向けた支援の在り方がわかる

経営デザインシート(KDS)とは?

企業等が、将来に向けて持続的に成長するために、将来の経営の基幹となる価値創造メカニズム(資源を組み合わせる企業理念に適合する価値を創造する一連の仕組み)をデザインして在りたい姿に移行するためのシートです。現在、多くの企業や団体が活用しており、内閣府のHPでその活用事例が紹介されています。2021年に入ってから、「事業再構築補助金」や「ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金」の公募要領において事業計画の作成に際し活用することが推奨されています。

内閣府「経営をデザインする(知財のビジネス価値評価)」

https://www.kantei.go.jp/jp/singi/titeki2/keiei_design/index.html



(経営デザインシート簡易版)

経営デザインシートを活用する効果

【思考補助ツールとして】

- 自社(又は作成者)が考えるべき、明確化すべき部分に気づくことができる
- 言語化することで、頭の整理ができ、将来像が明確化できる
- 新規事業の構想・実現に、各人の意見やアイデアを整理することに役立つ
- 支援先企業の事業を深く理解することに役立つ
- 支援先企業と一緒に課題や将来について考えることができる

【対話のツールとして】

- 関係者(社員、金融機関、協業先、支援者等)と目指す方向が共有できる
- シートが1枚で完結しているので、社内外に説明しやすい
- 事業承継において焦点を絞って議論ができる
- 社外から新鮮な意見が得られて自社の強みや課題、将来像が明確になる
- 対話の共通基盤となり、支援先企業と議論が深まる

中小企業の経営課題を解決したストーリーを紹介!

2月18日(金)

優良経営企業の一本足打法からの脱却～新規事業編～

2月22日(火)

借入過多の会社の未来と金融機関の新発見～資金調達編～



当てはまる方はぜひセミナーにご参加ください!

- KDSの正しい使い方を知りたい
- 「クライアントのありたい姿」の引き出し方を知りたい
- 金融機関がどのようにKDSを活用すればよいか知りたい
- 実際にKDSを活用した経営者が何を感じたか知りたい
- KDSによってどのような経営課題が解決できるか知りたい
- 支援者がどのようにKDSを使いこなしているか知りたい

中小企業の
こんな課題を解決

新規
事業開発

事業承継

将来構想・
経営戦略

事業性評価
融資

事業再生

研修時間	2月18日(金) 14:00～15:30	2月22日(火) 19:00～20:30
第1部 -30分-	事業環境が激変する今、中小企業が必要とするのは「バックキャスト思考」。これまでの経験やセオリーが通用しないからこそ「夢」つまり、ありたい姿が重要。なぜ、「経営デザインシート(KDS)」が役立つのかを解説!	中小企業が「夢」に向かって進もうとする際に必要となるのが金融機関のバックアップ。これまでの経営の結果としての財務諸表だけではこれからの未来は評価できない。金融機関は「経営デザインシート(KDS)」で中小企業のこれからのに向けて伴走する時代に!
第2部 -60分- 対設	<p>《登壇者》 五島 宏明 氏(ヒロパートナーズオフィス中小企業診断士事務所 代表) 内田 成彦 氏(大進プレス工業有限会社 代表取締役)</p> <p>《内容》 優良経営をしていた大進プレス工業だが、内田社長は1つの事業だけに依存していることに違和感を感じ続けていた。しかし、何をどうすればよいかわからなかった。そこで五島氏に支援を依頼。こうして経営デザインシートを使ったコンサルティングが始まった。そして、内田社長の夢を形にしたバグラスという本業とは全く異分野の新規事業が立ち上がった。本セッションでは、どうやって内田社長はバグラスという夢を手に入れられたのか、経営デザインシートを使ったことで何が起きたのかを語っていただきます。</p>	<p>《登壇者》 森 俊彦 氏(内閣府価値デザイン経営WG委員、(一社)日本金融人材育成協会 会長) 柴 太 氏(株式会社特殊鍍金化工所 代表取締役) 鈴木 俊成 氏(多摩信用金庫武蔵境南口支店 副支店長) 清水 一郎 氏(株式会社マネジメントパートナーズ 経営企画室室長)</p> <p>《内容》 メッキ加工が使われる移動体通信の拡大に伴い業績が右肩上がりの時代、特殊鍍金化工所は大きな設備投資を行っていた。しかし、様々な事業環境の変化の中で業績は一転。過去の設備投資が大きな負担となり、先が見えない状態に。確かな技術を有する同社を見守ってきたコンサルタントの清水氏は、経営デザインシートを活用した将来構想で金融機関のバックアップを引き出すことに成功。本セッションでは、経営デザインシートを使った将来構想が会社にどのような変化をもたらしたのか、金融機関にとってどのような意味があったのかを語っていただきます。</p>

定員30名

2月18日(金) 14:00～15:30

CISCO WebexMeetingを
使用したWebセミナーです

開催日時 2022年

2月22日(火) 19:00～20:30

※セミナーの申込みは定員に達し次第終了します

【お申込み】セミナーのお申込みは、参加者募集(案内)にご記入いただき FAXもしくはEmailにてお送りください

【主催】中国経済産業局 【協力】(一財)知的財産研究教育財団・知的財産教育協会・知的財産管理技能士会

【対象】中小企業診断士、弁理士、弁護士、知的財産管理技能士、金融機関や支援団体職員の方など

実際に経営層とコミュニケーションしている方(知財の基礎知識があり、支援・コンサルに活かしているもしくは活かしたいと考えている方)

【定員】30名(定員に達し次第、申込みを終了いたします) 【お申込み】FAXやE-mailでお申込みの際は下記「申込票」をお送り下さい。担当者より、詳細を改めてご案内いたします。

※メールでお申し込み場合は、件名(タイトル)に【セミナー申し込み】とご記載ください。

参加者募集(案内)

オンラインセミナー 申込み表

団体名	連絡先TEL ()	-
	連絡先E-mail	
参加者氏名	所属 役職	
参加希望日(希望する日時に <input checked="" type="checkbox"/> チェックを記入してください)		<input type="checkbox"/> 2月18日(金) 14:00～15:30 <input type="checkbox"/> 2月22日(火) 19:00～20:30

申込締切

2022年 2月14日(月)

(株)TSSプロダクション 知的財産web動画 もうけの花道 宛
FAX: (082) 251-3334 / E-mail: h-yamamoto@tss-pro.co.jp

【個人情報の取り扱いについて】ご記入いただいた個人情報については、第三者への開示は法令に基づく開示など特別な場合を除き、本講座以外には使用致しません。また、参加者名簿として講師と共有します。